

令和3年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラス与野本町

集計日：令和 3年 12月 15日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		ガイドラインに沿ってスペースを確保している。基本的に個別での対応になる為、十分にスペースの確保ができています。	個別トレーニングにて最大3名のお子さまが指導訓練室にて活動を行います。各担当指導員が事前共有を図り、運動のタイミングを調整する等の対策を行って参ります。
②職員の配置数は適切であるか	○		児童発達管理責任者1名、児童指導員4名（常勤2名、非常勤2名）を配置しています。	トレーニング終了後のフィードバックの時間にて、1名の指導員が複数名のお子さまの対応をさせていただくことがあります。その際は、怪我やアクシデントを避けるような対応をさせていただきます。
③生活空間は、児童に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		パーテーション等の仕切りを活用して活動自体に見通しが持ちやすい環境設定に配慮している。	バリアフリーに関しては今後該当される方のご利用を見込んだ場合必要な対応を行います
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		活動の区切りの際には消毒や換気を行っている。子どもが過ごしやすいように、環境設定を行うことができます	今後も室内の装飾やレイアウトも療育上の配慮と共に、ご利用のお子さまが心地よく過ごせる工夫をさせていただきます。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		朝礼終礼を通じて改善事項の共有を行っています。	業務に優先順位を付けることで、その都度、指導員間での話し合いの場を作って参ります。
⑥保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に2回実施している。改善が必要なものに関しては、話し合いにより策を出している。	いただいた声に対して対応した点について教室で掲示する等して公開をしている
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所のHPや事業所内の掲示物に保護者へ周知している。	ホームページで公開している為、今後は会報や来所時にもすぐに確認できるような体制整備を整えてまいります。

⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在実施しておりません。今後行うことを社内でも協議していく等前向きな対応を取って参ります。	今後、運営管理室統括の下、実施に向けて活動して参ります。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		教室内で毎月の勉強会をスケジュールとして実施し、会社でも外部講師を招き虐待研修等の活動を行っている。	今後も各自治体にて行われる集団指導へも必ず参加し、資質の向上に努めております。
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		おおむね3か月を目途に、教室内で会議を行い個別支援計画を作成し、保護者面談にて同意を得て支援しています。	保護者様との面談実施の調整が困難な場合がある為、必要に応じて電話連絡等で支援内容の共有などを行ってまいります。
⑪子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		社内の発達表（アセスメントツール）を利用して行っている	今後もアセスメントツールを元にケース検討を実施し、より質の高い支援を提供してまいります。
⑫児童発達支援計画等には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○		保護者等から利用者の課題などをヒヤリングし、利用者本人の状態に合わせて支援を提供している。	今後も、児童発達支援計画の「短期目標」及び、「具体的な手立て」の中に、必要と思われる項目を選択し、具体的な支援方法を明記してまいります。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		短期目標を設定しそれぞれの課題に合わせた支援をしています。	今後も、スタッフ間で情報共有し、支援計画に沿った内容を提供するとともに、トレーニング終了後に各指導員が振り返りを実施してまいります。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		会社としてプログラムの年間スケジュールが組まれており、教室でも職員で協議しプログラムの作成を行っている。	今後もチーム全体で声を掛け、立案を積極に行える環境づくりを努めてまいります。
⑮活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○		活動プログラムに関しては職員が固定化しないよう配慮をもとにプログラムの立案を行っている	今後も、お子様の成長に合わせて個々に継続する内容なのかを検討し、支援を行ってまいります。
⑯子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているか	○		個別・集団でトレーニングを行い、必要に応じて個別支援計画を更新しております。	個別のみのご希望をされている方に、必要に応じて小集団活動への参加も適宜促してまいります。
⑰支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼の時間を利用し、その日の動向を事前に打ち合わせている	今後も活動内容での配慮、環境設定の打ち合わせを徹底して行ってまいります。
⑱支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	○		終礼を通じて行っている。利用者の状態や保護者からの相談事項の共有を行っている	トレーニング終了後に、各担当が振り返りを行ったり、必要に応じて全指導員でケース会議を行う等の対応を強化してまいります。

⑱日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の日誌をもとに、おおむね3カ月に1度ケース会議を開き、目標の変更等について協議している。	今後も記入事項を全社で統一することで標準化された内容とし、自身の支援内容が正しいかどうかを検証できるようにしています。
⑲定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		おおむね3か月を目途に教室内でケース会議を実施している	今後もケース検討などを定期的に行い、お子さまの支援計画を全指導員が把握することが出来る環境を作っています。
⑳障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		利用者との関わりが深いものなど、適切な職員を協議し選出している。	担当者会議の出席者が、教室の指導員に共有し、支援内容に反映させられるよう今後も努めてまいります。
㉑母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		相談支援事業所など、利用者の共有を行いながら包括して支援が行えるに工夫しています。	枠組みにとらわれずに、必要なときに相談できる仕組みを地域と連携して行って参ります。
㉒移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等訪問を活用して積極的に活用を行っているとともに必要に応じて個別の訪問を行っている	保護者のニーズに応じて活動を広げて行くための人員体制や時間の確保について積極的に話し合っています
㉓移行支援として、小学校や特別支援学校（初等部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等訪問を活用して積極的に活用を行っているとともに必要に応じて個別の訪問を行っている	保護者のニーズに応じて活動を広げて行くための人員体制や時間の確保について積極的に話し合っています
㉔他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		相談支援事業所と電話でモニタリングを定期的におこなっています。その際に、必要な助言と共有を行っています	状況に応じて積極的に訪問を行う等しながら、より密な連携に努めて参ります。
㉕保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	感染症対策を優先してきたために、実施できておりませんでした	各自治体へ地域の活動内容の確認を行ってまいります。
㉖協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	感染症対策に応じて、積極的な参加ができていなかった。	各自治体から通知から情報を得ることで、協議会へ参加する機会を作っています。
㉗日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		フィードバックの時間の時間を通じて充分に行うことができていますとともに、定期的な面談を設けることで、より緊密な信頼関係を保持する努力をしています	保護者が不在時や、後日気になる事があった際には、電話、メール等の連絡手段を使い情報の共有に努めています。また、3か月に1度、保護者面談を実施し共通理解を図れるように活動し状況や保護者のニーズに応じて実施を前向きに検討していく。
㉘保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○	感染症対策に応じて、積極的な実施ができていなかった。	

⑩運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を実施しているとともに、保護者スペースに掲示している	今後も事業所入口に掲示し、周知を図ってまいります。
⑪児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインに沿ってアセスメントを行い、それに基づいた計画を立案しています。そのうえで保護者への説明を行い、同意を得て支援を行っています。	全社でも標準化されたアセスメントをツールを作成する等、立案の際に統一的な見解が算出できる仕組み月理を行って参ります。
⑫定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		3か月に1度の定期面談を実施するとともに、フィードバックの時間を用いている	今後も仕組みを確立するとともに、必要に応じた臨機応変な対処を行っています
⑬父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在実施しておりません、。今後行うことを社内でも協議していく等前向きな対応を取って参ります。	ニーズに即して、保護者様同士の交流会を実施する等、必要な提案を行っていく
⑭子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		対応の体制は開示して、周知を行っている	フィードバックの時間を活かして、事前対策を行うこと、起こった場合に対する対処を適切に行うことを徹底する
⑮定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		通信や予定表の配布等を定期的に行っている	SMSでも合わせて発信していく等、保護者の状況に合わせて、より情報が得られやすいような発信手段を考慮していきます
⑯個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人を判断できるものを書庫に保管している。印刷物を極力伏字で行っている	情報の取り扱いについて、定期的な見直しを行い、凡事徹底を図っていく。
⑰障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言葉でのコミュニケーションだけでなく、イラストカードや個人に合わせてツールを作成し、意思疎通を図っています。	個々様々な特性を持つ子ども一人ひとりに対して、必要なツールを作成する等、よりきめ細かい配慮を行っていく
⑱事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	感染症対策に配慮すると積極的に行うことができていなかった	感染症の状況によって機会を設けることや別の角度から地域に開かれた事業所運営をおこなっていく
⑲緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		保管をしています。着任後の初期研修の際に、職員には周知徹底を行い、必要に応じて勉強会等の機会に活用を行っています。保護者への周知については、利用契約時に契約事項と併せ、説明を行っています。	会社に組織された委員会をもとにさらに活動が推進されています。自教室にも委員会に定期的に参加するものを設けて、情報をより得やすい環境においていきます

④⑩非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難計画を策定し、年2回の避難訓練、救出訓練を行っています。	今後も実施を定期化するとともに、近隣消防署と協力し、避難訓練に関するイベントも実施し、啓発活動にも努めています。
④⑪事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時の緊急連絡票に重要な事項の記載をいただいている	共有漏れがないように、書面一つ一つの意義と確認の必要性について伝えていく。
④⑫食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	契約時にアレルギーの有無は確認している。実際に食事を提供する場面がないために対応自体は行っていない	今後、必要に応じて医師の指示書に沿っての対応を行って参ります。
④⑬ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット・アクシデントが起きた際には、その日のうちに事業所内で共有を行っています。	今後もヒヤリハット・アクシデントが起きた際には、迅速に教室内で、共有し、対策などを検討し実施してまいります。
④⑭虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		弊社運営管理室の指導の下、虐待防止委員会を組織し、年1回虐待防止チェックリストを作成しています。また、着任後の初期研修で児童虐待、施設内虐待、障害者虐待についての基礎知識を学び、防止に努め、教室内勉強会でも、同様の研修を行っております。外部の虐待防止に関する研修にも、年1回管理者が出席をし、他の職員に共有しております。	今後も、定期的な勉強会を実施すると共に、指導員への意識を高めてまいります。
④⑮どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達 支援計画に記載しているか	○		現在事例はないが、契約時に可能性の示唆は行い、丁寧に説明をしている。	緊急の場合は保護者様に承諾を得ることで、指導員が対応させていただきます。